

ES/1 NEO

MFシリーズ

V05L23R1

Release News Letter

富士通XSPシステム

目次

【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて
PC製品環境 サポート終了のお知らせ

【HOST】

資源使用量比較一覧

【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	...	1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	...	2
Performance Navigator	...	3



株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L23R1 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア(x:¥Rnl)内のレターをご参照ください。

改版履歴

日付	版数	内容
2026/3/1	1	V05L23R1 リリース

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより30ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L23R1 の場合

V 0 5 L 2 x R x

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2050/12/31
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05.23.01
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L23R1	2026年3月	2028年9月30日
V05L22R3	2025年8月	2028年2月29日
V05L22R2	2025年2月	2028年2月29日
V05L22R1	2024年2月	2028年2月29日

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

PC製品環境 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

<サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 サポート終了時期：2026年10月末

<サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 サポート終了時期：2026年10月末

Microsoft® Excel2019 / Word2019 サポート終了時期：2026年10月末

V05L23R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

<オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 (2026年10月末まで)

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

Microsoft® Windows® Server 2025

Microsoft® Windows® 11

<アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2019 / Word2019 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® Excel2024 / Word2024

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L23R1 と、以前のリリース (V05L22R2) との資源使用量比較一覧です。
各項目の意味は以下の通りです。

CPU	以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体 以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ 以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L22R2 vs V05L23R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-XSP	CPECNVRT	—	0	—
	CPEXSPCV	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	AIMPRT00	—	0	—
	AIMTRCO0	—	0	—
	JOBDSN00	—	0	—
	HIB1CHKO	—	0	—
	AVMPRT00	—	0	—
MF-MAGIC for XSP	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXAIM00	—	0	—
MF-SCOPE for XSP	JOBEXE00	—	0	—
	JOBTRCO0	—	0	—
	JOBGRPO0	—	0	—
	JOBXSPM0	—	0	—
	JOBRDB00	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASDO	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
MF-eASSIST	PNAVICEC	—	0	—
	PNJOBXSP	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-XSP	CPEPRT00	—	124	—
		AIMPRT00	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。
(3) CPECNVRTへの先行更新をCPEXSPCVにも反映した為、CPEXSPCV本体の使用量が増加しました。

【OVER16機能 指定方法】実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

¥CPESHELL EX CPESHELL, RSIZE=64M, OPT=DUMP	<=追加・変更
¥PRGLIB FD PRGLIB=DA, FILE=CPE. LOAD	
¥SYSPRINT FD SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(5, 1), SOUT=OUTCLASS	
¥PARA PARM	<=追加
¥CPEPARM FD CPEPARM=*	<=追加
OVER16=CONVERTWORK	<=追加
OSTYPE=XSP	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

【PC】機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	3	523-151
	拡張	2	Microsoft® Windows® Server 2025への対応	3	523-152
	拡張	3	Microsoft® Office 2024への対応	3	523-153
	不具合	4	等高線グラフの設定変更でグラフ種が変更される	4	523-154
	不具合	5	バージョンアップ時にデータフォルダパスが変更される	4	523-155

【PC】機能一覧 カテゴリ別

拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	3	523-151
	拡張	2	Microsoft® Windows® Server 2025への対応	3	523-152
	拡張	3	Microsoft® Office 2024への対応	3	523-153

不具合一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	不具合	1	等高線グラフの設定変更でグラフ種が変更される	4	523-154
	不具合	2	バージョンアップ時にデータフォルダパスが変更される	4	523-155

Performance Navigator(拡張)

523-151. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日	サービス終了日
半期エンタープライズチャンネル	2408	17928.20392	2025/1/11	2026/3/10
	2502	18526.20472	2025/7/8	2026/3/10
	2508	19127.20484	2026/1/13	2027/9/8

523-152. Microsoft® Windows® Server 2025 への対応

Microsoft® Windows® Server 2025 に対応しました。

523-153. Microsoft® Office 2024 への対応

Microsoft® Office2024 に対応しました。

Performance Navigator(不具合)

523-154. 等高線グラフの設定変更でグラフ種が変更される

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

次の条件を満たす場合、等高線グラフのグラフ種が変更され別のグラフとして再登録されていました。

<発生条件>

- 登録済みの等高線グラフの設定を変更する

【原因】

設定変更に関わるプログラムのロジックミスでした。

【対処】

プログラムを修正し、設定変更後もグラフ種が変わらないようにしました。

523-155. バージョンアップ時にデータフォルダパスが変更される

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

次の条件を全て満たす場合、データフォルダ(x:¥IIM_DATA)のパスが意図せず変更されていました。

<発生条件>

- ES/1 Webのみインストールされており、Performance Navigatorはインストールされていない

<現象の例>

- バージョンアップ前はE:¥IIM_DATAだったが、バージョンアップ後にC:¥IIM_DATAになってしまう

【原因】

バージョンアップ時のデータフォルダパスは次のレジストリ値を参照します。

HKEY_CURRENT_USER¥Software¥VB and VBA Program Settings¥Pnavi32¥StartUp の FlatFile

しかしこのレジストリ値はPerformance Navigatorがインストールされていない環境では書き込まれません。

このためデフォルトのC:¥IIM_DATAを採用してバージョンアップしていました。

【対処】

バージョンアップ時のデータフォルダパスを次のレジストリ値から参照するように修正しました。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥IIM Products の DataPath

このレジストリ値は IIM 製品がインストールされると書き込まれます。